

第5回 学校運営協議会 議事録

(令和8年2月5日 委員6名・事務局1名参加)

1 開会の言葉

2 校長挨拶

(1) 学校生活の様子について

- ・ 冬季休業明けも落ち着いて学校生活をスタートすることができた。
- ・ インフルエンザB型が流行し始め、欠席者や早退者が増えてきている。児童の健康状態に留意して、教育活動を進めていく。
- ・ 1月には大縄タイム、大縄チャレンジに取り組んだ。2月はマラソンタイムに取り組んでいる。2月の学校公開時にマラソンチャレンジを実施する。
- ・ 2月にはゆずサポ企画のピアノ公演や学校公開がある。4校親善ソフトボールや親子音楽会、ドッジビー大会も予定されている。また、2月末には社会科見学の最後として、5年生が横浜、横須賀方面に出かける予定である。
- ・ 令和7年度卒業式は3月25日(水)午前10時開式、令和8年度入学式は4月8日(水)午後2時開式となっている。
- ・ 市内共通で次年度より、入学式は始業式と同日(4月6日)ではなくなり、始業式の翌日に中学校の入学式、翌々日に小学校の入学式を行うこととなった。あそびばや学童クラブは4月1日より始まっている。入学式への6年生参列は代表児童のみ、2年生は映像での出演となる。

3 学校評価(保護者アンケート結果)について

【学校から主な結果の説明】

- ・ いじめ対応については、見逃さず小さなうちに解決する方向で、国全体で動いている。認知件数が増えているのはそうした考えを反映した結果である。また、いじめを認知してから3か月経過観察をし、解消しているかどうかの確認をするという仕組みになっている。
- ・ タブレットについては、研究校として、効果的な活用を目指し、試行している段階である。これからの時代は、活用の仕方を自分で考え、使いこなしていく時代である。現在では、一人で進める、グループで進めるなど、課題の追究方法、学び方も子どもたちが選択していくようなスタイルの授業も行っている。
- ・ ホームページの更新頻度が低いことは課題の一つである。写真の掲載への配慮なども必要で、難しさがあるが、更新頻度を高める努力をする。
- ・ アンケートに回答する際に分かりづらいという指摘もいただいているので、改善する。
- ・ 登校後、ランドセルを乱雑に放置して遊んでいるというお声をいただいた。すぐに指導し、改善につなげることができた。
- ・ 学校目標について。「じょうぶな体をつくる」という目標について、肯定的な回答が多かった。本校の子どもたちは外遊びもよくしている。
- ・ 授業・学習面について。別のアンケートになるが、4～6年生対象の調査で「授業がよくわかる」の回答が低い数値を示している様子も見られた。学習への自信のなさを支援していく必要がある。
- ・ 特別活動について。学校行事における子どもたちの姿から肯定的な回答を多く得られたと考える。
- ・ 生活指導について。いじめ防止、言葉遣いに関する項目に課題が見られた。
- ・ 保護者、地域との連携について。本校は、様々な方面から多くのサポートをいただいている。それらの活動をより知っていただけるとよい。
- ・ ICT機器の活用や障害者理解教育は力を入れて取り組んでいる内容である。取組を知っていただけるように努めていく。
- ・ 学校運営協議委員の皆様からうかがった働き方改革についてのご意見は、記述の形で学校だよりに掲載させていただいた。

【意見交換】

- ・ ホームページの更新頻度を上げていけるとよい。
- ・ 学校評価アンケートにおいて、フォームで回答する方法を取り入れるようになったことで、回収率

が下がってしまったところもある。

- ・回収率を上げる工夫として、PTAのアプリや学年ラインなどで呼びかけることも考えられる。関心を高めていく工夫が必要である。
- ・質問が難しく、「できている」に印を付けるのも勇気がいることなのかもしれない。
- ・目に見えやすい活動に対しては、肯定的な回答が高くなっている。
- ・小さな学校ではあるが、細かなところまで行き届いているなど感じる。小さな学校ならではのよさを感じる。

4 令和8年度教育課程届（案）について

【学校より概要の説明】

- ・「教育課程届」とは、調布市教育委員会とやり取りを重ねながら、学校の次年度の取組について目標や内容、方法を明確にし、作成していくものである。
- ・次年度も引き続き、教育目標の中の「考える力」の育成を重点としていく。
- ・「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校、調布市研究推進校として、第八中学校とと一緒に研究発表会を1月に行う予定である。
- ・調布市全体で「ダブルダッチ」に取り組んでいく。
- ・キャリアパスポートは、全校で取り組んでいるもので、小学校から中学校に引き継がれていく。
- ・本校が通級指導の拠点校である。そのメリットを生かして特別支援教育を充実させていく。
- ・いじめ防止を重要と捉え、教員研修もしっかりと行っていく。
- ・授業時数については、文部科学省からも必要以上の時間数になっていないか見直しをしていくという方向性が示されている。
- ・「ちょこプラ1」という取組を通して、日常の中での体力向上を目指していく。
- ・今年度の道徳授業地区公開講座は保護者会の中に協議会を組み込むことで参加数を増やす工夫を図った。次年度も工夫していく。

【意見交換】

- ・学校経営方針を分かりやすく、今年度のテーマとしていつも心に留めていられるような言葉で示していただけるとよいのではないかと。取組を絞って示すとよい。保護者にも子どもにも大事にしていることが伝わり、誰もがすぐに言えるようなものとよい。

5 体育館改修について

- ・次年度は大規模改修が行われるため、使用できなくなる期間が長い。6月の初めから1月末までということで、授業だけではなく、開放団体や地域行事にも影響があるが、やりくりをして乗り切っていかなければならない。
- ・体育の授業では、マット運動や跳び箱運動などを時期をずらして学習する、安全に配慮しながら、空き教室でも行える内容は教室を使って学習するなどの工夫をし、学習を保証していく。
- ・全校朝会などは校庭で行うこともあるが、気温の状況等に配慮し、オンラインで行うことを基本とする。
- ・クラブ活動の内容については、クラブ調査・決定の段階から子どもたちに改修のことを伝え、検討している。
- ・学習発表会は、インフルエンザ等の流行や6年生の進学準備の時期を考慮し、3学期実施はせず、例年同様の11月実施を考えている。他施設を借りることも検討したが、時間の面や安全面、他団体への影響などから難しいと判断し、教室を使用して、学年で相談した取組を学級ごとに発表する形を考えている。
- ・体育館で使用している用具については仮設倉庫への移動の作業が入る。

6 活動報告書について

- ・成果と課題について作成した。
- ・次年度に向けて、保護者の声を集め、保護者にできることを考え、協力していける仕組みを作りたい。保護者のつながりをよりつくっていけるとよいと考えている。